

◎学習の流れ

1. 申込用紙に必要事項を記入し、受講料を振り込みます。

(受講料振込および書類の〆切は **8月17日(金)**といたします。特に申込書類において受講対象者であるという証明(学校長等の公印)が必要になります。お早目の対応をお願いいたします。)

2. 本申込完了確認後、本学より随時、テキスト、レポート課題を送付します。

3. 届いたテキストおよび学習の手引きを読み、受講する講座のレポート課題に取り組んでください。

④選択必修領域で受講したのと同じ講座を、選択領域で受講することはできません。

4. 選択必修領域および選択領域において、申込時と違う講座内容に変更したい場合は、レポート提出時に変更届を送付してください。変更届を提出しない場合は、必ず申込時の講座内容のレポートを提出してください。

④変更できるのは講座内容だけで、講座数を変更することはできません。

また、選択領域から必修 + 選択必修領域への変更など、領域は変更できません。

5. レポート課題の指示によりレポートを作成、本学へ提出します。

(レポートの最終〆切は申し込みの日付に関わらず、**9月7日(金)必着**とします。)

6. レポートが本学に到着しましたら、随時受験票を送付します。

7. 担当教員が添削指導を行い、評価票にコメントを記載したレポートを返送します。

④レポートが不合格の場合は、書き直して再提出をしてください。(再提出には再レポート添削料金(1講座1000円)が別途必要になります。)

8. 申し込んだ日程・場所で修了認定試験を受験します。

レポートの可否にかかわらず受験できます。

修了認定試験は論述式です。(レポート、テキストのみ持込み可能)

④試験不合格の場合、再試験を受験してください。(再試験には受験料が必要になります。なお、再試験は神戸国際大学においてのみ実施します。)

9. レポートおよび修了認定試験の合格をもって、全領域を受講した方には修了証明書を、一部の領域のみ受講した方には履修証明書を発行します。再提出したレポートおよび再試験の一方でも不合格となった場合は、証明書は発行されません。講習は終了いたします。

④一部の領域について、レポート及び試験に合格している場合は、課程の一部を履修したこととして履修証明書が発行されます。

残りの領域は、他大学等で開催されている講習を受講してください。

◎レポートの評価

レポートの評価は、文章によるコメントに加えて、5段階評定を示し、S、A、B、Cを合格、Dを不合格とします。

評価	評価の定義
S	当該事項の到達目標内容をレポート課題に応じて、ほぼ完全に説明できたと認められる。
A	当該事項の到達目標内容をレポート課題に応じて、十分に説明できたと認められる。
B	当該事項の到達目標内容をレポート課題に応じて、おおむね説明できたと認められる。
C	当該事項の到達目標内容をレポート課題に応じて、最低限の説明ができたこと認められる。
D	当該事項の到達目標内容をレポート課題に応じて、再学習の必要が認められる。

※D評価のレポートは再レポートとなります。

※再レポートの評価は、CまたはDです。再レポートの評価がDの場合は不合格となりますので、修了(履修)証明書は発行できません。

◎修了認定試験

求められている課題のレポート提出をすべて行くと、修了認定試験の受験資格が与えられます。事前に申込みをした受験日・受験地で、修了認定試験を受験します。

※申込後の試験日・試験地の変更は原則としてできません。

※複数回にわたって受験することはできません。1回(1日)のみの受験です。

※試験が不合格の場合は、再試験を受験してください。

※再試験の受験ができるのは修了認定試験に不合格であった場合のみとなります。

修了認定試験当日の流れ

実施時間	内容	
13:00 ~ 13:15	必修 + 選択必修 受講者受付	
13:15 ~ 13:30	注意事項	
13:30 ~ 14:30 (60分)	必修 + 選択必修領域 試験	
14:30 ~ 14:45	必修 + 選択必修受講者 休憩 および選択受講者 受付	
14:45 ~ 15:00	注意事項	
15:00 ~ 15:30 (30分)	選択領域試験 1	講座受講数により異なります。
15:30 ~ 16:00 (30分)	選択領域試験 2	
16:00 ~ 16:30 (30分)	選択領域試験 3	

(試験時間中にアンケートの作成もお願いいたします)

成績評価については以下の基準とし、S、A、B、Cを合格、Dを不合格とします。

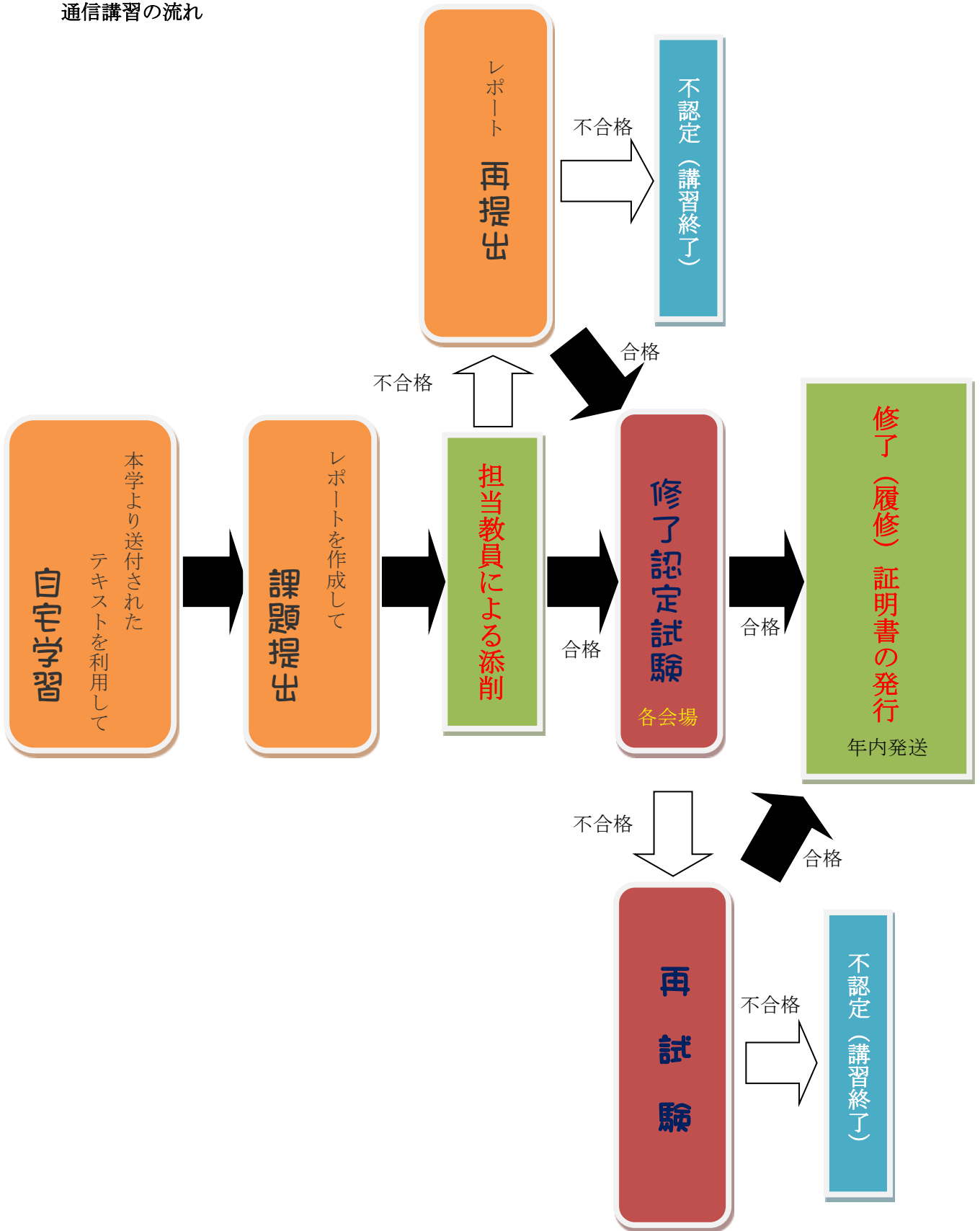
評価（点数）	評価の定義
S（100～90点）	当該講習の到達目標の内容をほぼ完全に修得し、かつ応用する力がついていると認められる。
A（89～80点）	当該講習の到達目標の内容を十分に理解し修得したものと認められる。
B（79～70点）	当該講習の到達目標の基幹部分は理解し修得したものと認められる。
C（69～60点）	当該講習の到達目標のうち、最低限の理解は得られたものと認められる。
D（59点以下）	当該講習の到達目標に及ばない。

◎修了（履修）証明書の発行

レポートが合格しており（再レポートも含む）、修了認定試験による成績審査に合格した受講者には、免許状更新講習の課程を修了したこととし、修了証明書を発行します。なお、一部の領域のみ合格した受講者には、履修証明書を発行します。これらの証明書は、12月中旬に各受講者へ送付する予定です。

修了（履修）証明書を受理した方は、期日までに教育委員会にて所定の手続きを行なってください。なお、詳細については免許管理者にお問合せください。

通信講習の流れ



注：レポートが不合格であっても、修了認定試験は受験できます。

再提出されたレポートが不合格であれば、修了認定試験に合格していても不認定となります。